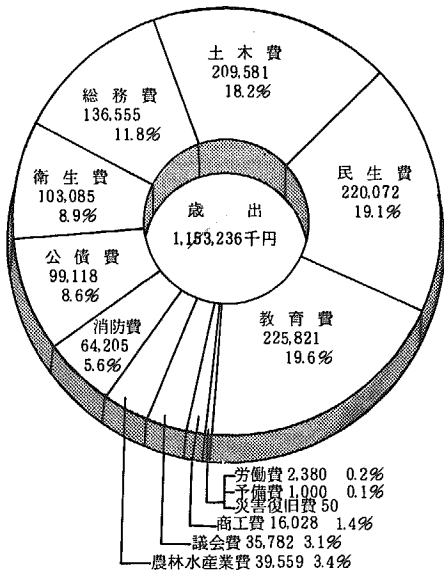


会問題として、本県の果す役割はきわめて重大であり、中でも本町は蒲原平野の穀倉地として食糧供給基地にふさわしい地位を確保するため、良質多収を基本とする、高効率生産組織の育成、技術の改善、強化を図ることとしている。

◎社会福祉  
住民福祉の充実に努力しているが、願望は非常に多く、あらゆる人の満足をはかることは困難をきわめ、諸制度を活用しながら充実をはかる所存である。

具体的には七〇才以上の老人医療の無料化に二千七百七十万円、一人暮らし老人及びねたきり老人用緊急警報機の設置、六十五才以上老人の無料健康診査、また社会的弱者対策、家庭奉仕員の委託、老人の各種教養講座の開設などを計画し、積極的に施策を講ずる。なお、大野保育所の改築促進をはかるとともに、幼児の栄養バランスを考慮に入れ、専門栄養士に委託



し万全を期すなど幼児の健全育成に力を入れる。

◎保健・環境衛生  
町民の健康を守るため、集団検診、伝染病予防、衛生教育、母子保健、食生活の改善、精神衛生などを推進し、住民の健康管理と保健指導を進める。

環境衛生については、清潔で住みよい町造りを進めるには、住民行政一体となって推進する必要がある。一番身近なゴミ問題については、広域市町村圏の根幹事業として、大ゴミ処理センターが、亀田町に建設され、この問題も少しは緩和されると思われる。しかし、燃えないゴミ処理については依然として、埋立地に苦慮しなければならぬ問題が残っている。

更に防疫、殺虫対策、家庭下水溝の改善補助金を増額し生活環境の保全につとめる

◎商工業の振興  
きびしい経済情勢下における中

少企業経営の安定をはかるため、商店の広域診断、講習、講演会の開催、金融対策として、各種制度資金の活用を勧め、育成指導をはかる。

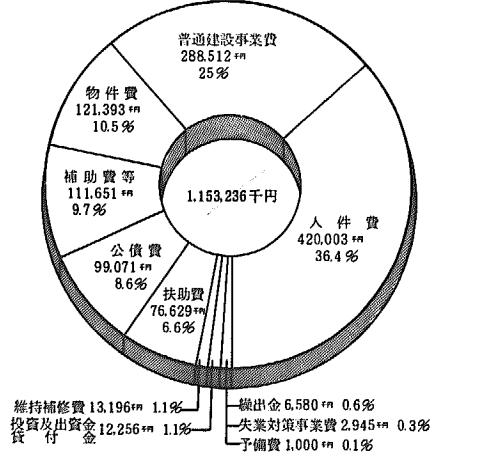
◎交通安全対策  
道路整備に伴って事故が増加する傾向は断たなければならず、交通安全施設の整備充実をはかるとともに、運転者をはじめ、幼児、児童、生徒に対する交通安全教育を推進する。また、交通災害共済への加入促進をはかり被害者の救済対策としたい。

◎消防  
化学製品の普及により、火災の危険度が増大している今日、人命尊重を第一に火災予防思想の啓蒙と消防施設の整備をはかる。



3月19日、一般行政に対する質問日

〔性別別歳出内訳〕



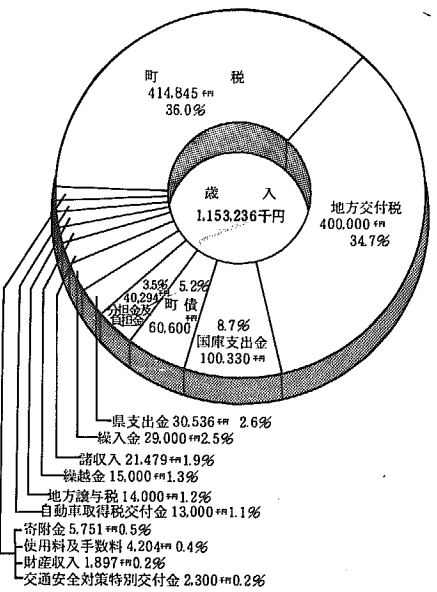
国民健康保険特別会計の歳入、歳出はともに、三億三千二百二十七万二千円で、前年比較二八%増である。歳入の主なるものは国庫支出金五三%、保険税四一%で前年比四一%の上昇となっている。

歳出は、保険給付費が全体の八九%をしめ、前年対比二六%と高い伸びを示しているが、これは老人医療の無料化、高額医療制度の実施もその一因である。また助産費も二万四千円に、葬祭費も八千円、一万円にそれぞれ引き上げ任意給付についても改善を図っている。

### 〔特別会計〕 国民健康保険は 三億三千二百二十七万余円

◎農業共済事業  
この収支合計は三千七百七十一万一千円で、前年当初に比較して一千八百九十九千円増となっている。この予算規模は引受面積基準単収一担当り共済金額によって必然的に予算組されるものです。従って、本町は農業災害補償制度本来の使命を考え、万一災害に対する補償を考え合せ、共済金額を一担当り百六十円に引上げたものであります。

# 11億5,323万6千円の 使い途は



昭和五十年三月定例会町議会は、去る三月十日から二十日まで議場において開かれ、専決処分一件旧市町村職員恩給組合資産管理組合会計決算認定一件、町条例の一部改正二十件、町道路線の変更及び認定に関する議件二件、一般会計及び特別会計の新年度予算及び四十九年度補正予算十件、新潟県消防団員等公債組合同約の改正、農業共済事業関係、請負工事変更契約関係、寄附採納による寄附金の受入れに関する議件等四件は、いずれも原案通り決し、二十日全日程を終了しました。

（予算編成概要）  
この予算編成にあたり、新年度事業として大野保育所の改築工事を計画したのであったが、約二億六百万円の見積で、そのうち約一億余円が見込まれたこと、更に黒

高等学校建設の地元負担として四千三百四十万円が予想され、その他義務的経費の増高が見込まれる。財政運営上からして大野保育所の改築は見送らざるをえなくなつた。

この対策として大野保育所建設

◎建設事業  
引続き重点施策の一つとして国道8号線の拡充工事の促進、主要地方道新潟湯沢線改良事業の促進、広域関連農道整備、農免道路、五〇%補助の公共土木事業として継続、新規事業に対する国家予算のかく待及地盤沈下対策事業や、町道改良補修事業の計画的実施、都市排水事業の施行のための調査設計の取り組みなどがあげられる。

◎文教施設の整備  
木場小学校危険校舎改築を予定し、普通教室三、管理室、使丁室渡り廊下などを含む、七六〇㎡の改築を予定しており、この事業費七千二百二十四万一千円を計上、国庫補助、起債の許可を期待し、これらの見とおしをみつめながら

基金条例を制定し、四千八百万円を積立てこれに対処したいとしている。

昭和五十年一般会計当初予算は歳入歳出ともに、総額十一億五千三百一十三万六千円、前年度当初予算額に比較し、七%減である。これは鉄道公団よりの受託事業費の三億数百万円等が、特別に計上されたため、これらを差し引くと、前年度対比で、二九%程の上昇である。

歳出は、人件費が四億二千九百万円、前年度対比で四五、九%

建設計画を進める予定に在る。このほか善入部落の公民館建設事業二千八百二十万円、移動公民館事業としてマイクロバスの更新、また各小、中学校の補修、学校給食センター食器保管庫の増設などを計画している。

◎農業振興  
食糧問題は国際的にも大きな社会問題として、本町の食糧増産に力を入れる。

の上昇であり、この要因は職員及各種委員の給与改訂、寺地保育所新設による職員増、鉄道建設公団の受託事業に係る人件費の増額などがあげられます。

建設事業は、二五%前年比五〇、四%減であるが、前年度の特種事業分を差引いたとすると二四、七%の上昇、扶助費が六、六%、一九%上昇、公債費が八、六%、七、二%上昇、物件費一〇、五%一九、六%上昇、補助費九、七%維持補修費が一、一%となっており今後の財政運営に万全を期さなければならぬ。

### （各項目の主要施策） 木場小改築（一部）に 七千二百万余円

行先	角田山
期日	4月20日
参加費	（雨天の場合中止） 八〇〇円
申込み	4月10日まで 中央公民館係へ